

2018. 6. 19

災害対策本部の訓練状況

元 大成建設株式会社

天野 明夫

建設会社のBCP = 社会的使命

基本方針

- ①事業活動の重要な機能を継続
- ②社会の建設生産物の維持または復旧に努める
- ③国・地方自治体・企業の事業継続に貢献
- ④常に見直し、改善していくことで社会から信頼される企業となる

重要業務

- ①施工中物件の復旧
- ②元施工物件の復旧
- ③社会貢献(人命救助・インフラ復旧)

基本的な復旧フロー

第1次復旧体制 24時間以内

- 社員と家族の安否確認
- 災害対策総本部の設置

第2次復旧体制 48時間以内

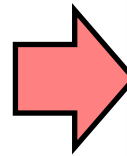
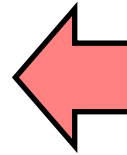
- 応急的な復旧工事の完了
- 作業所(工事中)の二次災害の防止

第3次復旧体制 2週間以内

- 本格的な復旧工事の完了
- 作業所(工事中)の工事再開

要請

人命救助



支援

インフラの
応急措置

整備すべき重要要素

情報系インフラの確保

- 従業員情報、物件情報のデータベース
- 安否確認システム／災害情報管理システム

要員の適正配置

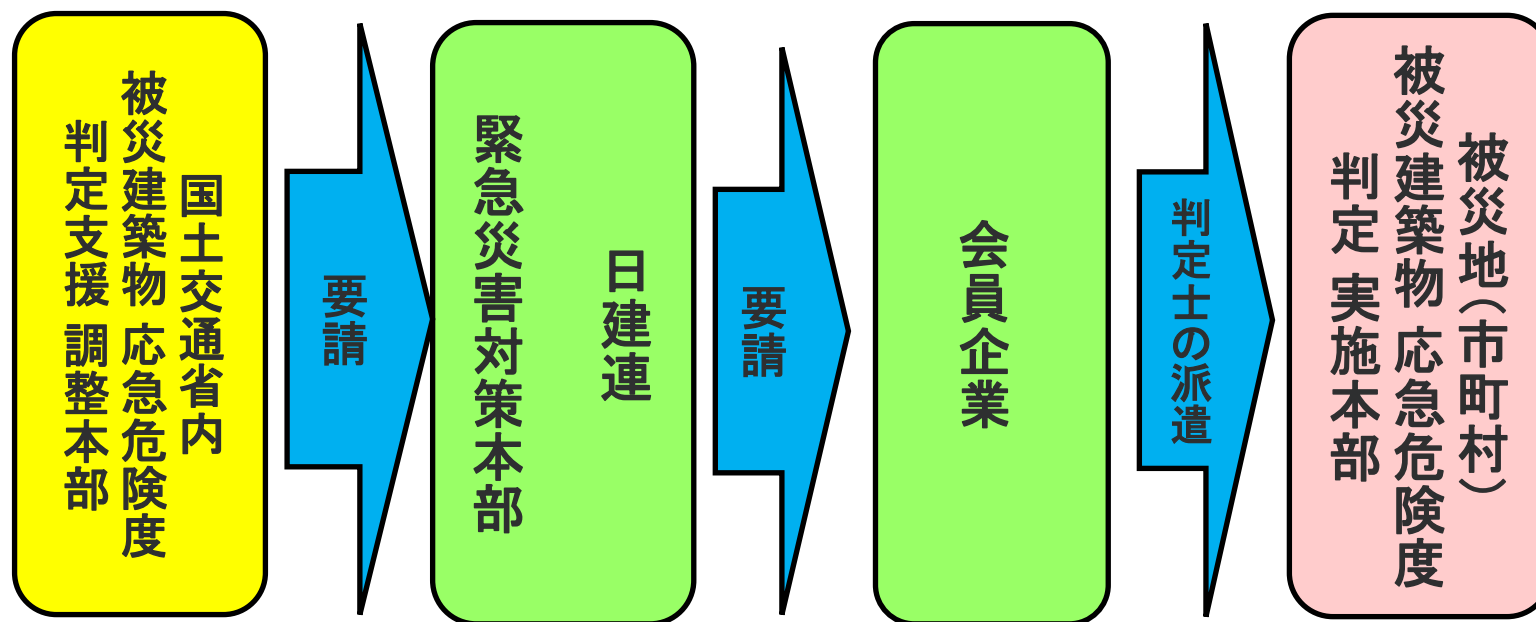
- 各復旧体制に応じた要員計画（出社先の調整）
- 職域／能力別の要員の適正配置

サプライヤー（協力業者）の確保

- 協力業者の人的／物的確保（有事協定の締結等）
- グループ会社と連携した調達計画

日建連*としての公的要請への対応

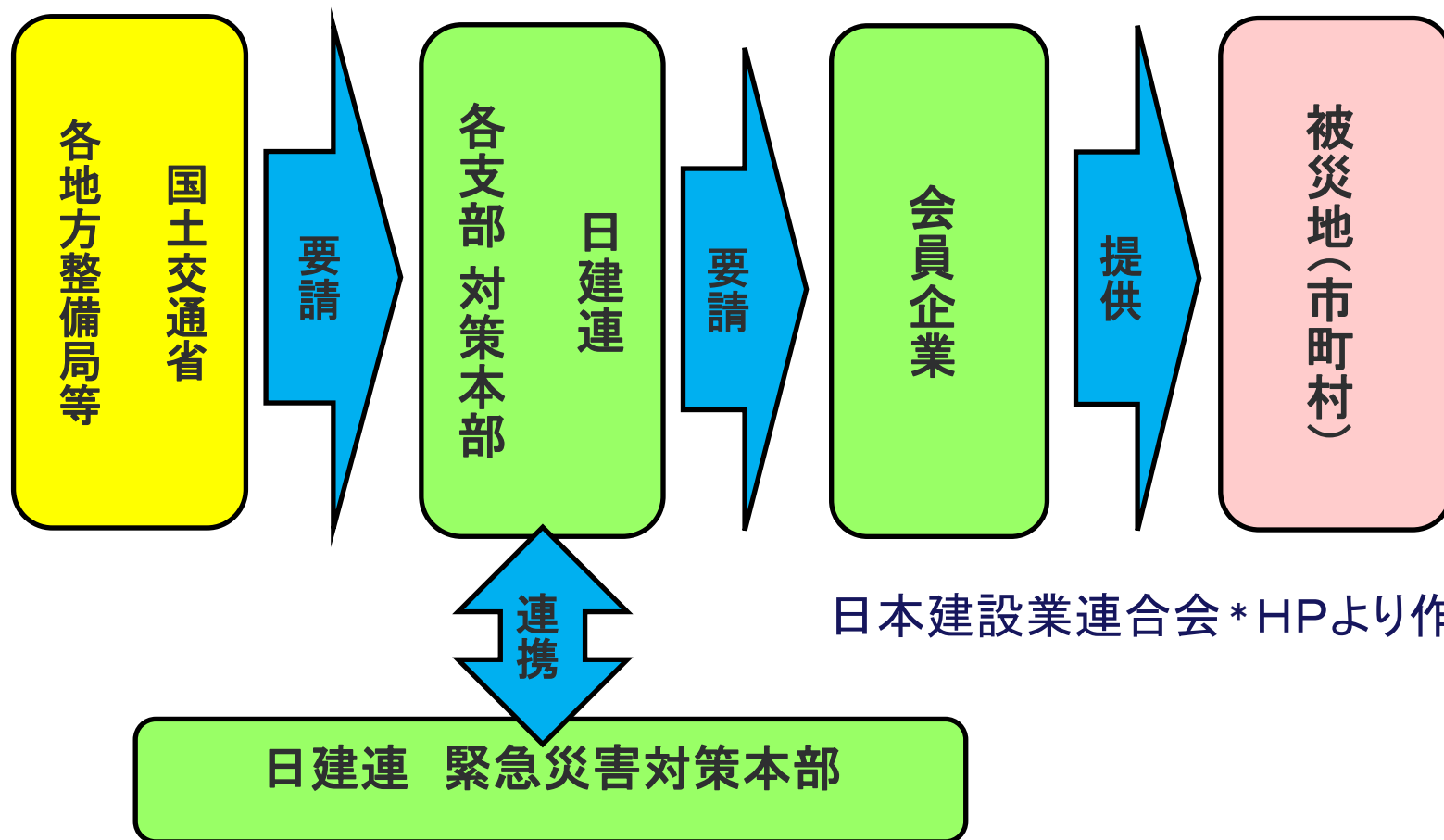
1. 応急危険度判定士の派遣



日本建設業連合会* HPより作成

日建連*としての公的要請への対応

2. 応急復旧工事、資機材調達、運搬業務の流れ



日本建設業連合会*HPより作成

BCP訓練の変遷

建設業では最も早く2005年度にBCPを策定し、その後2006年度より毎年、「訓練後に次年度の重点課題を設定して訓練内容を見直してきた。

2007年度(の例)

繰り返し訓練実施による習熟度向上と実効性確保

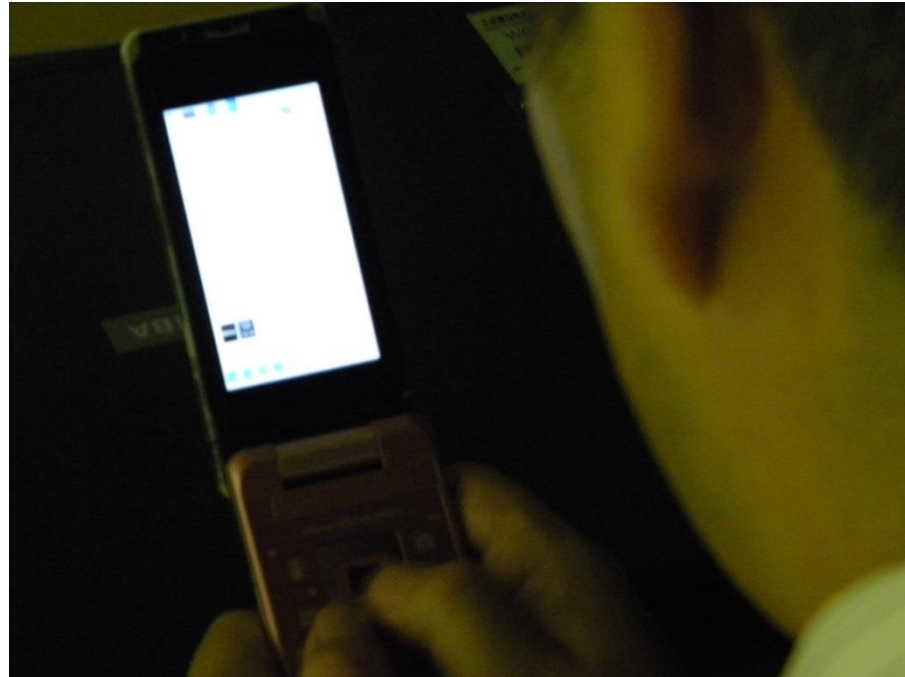
「前年度からの変更ポイント」

①安否確認回答率の向上、「応答」から自主的な「登録」へ

②グループ会社や専門工事業者との連絡訓練の追加

安否確認の訓練成果

東日本大震災において、東北支店の全社員
331名の安否確認を21時40分に完了。



BCP訓練の変遷

2015年度

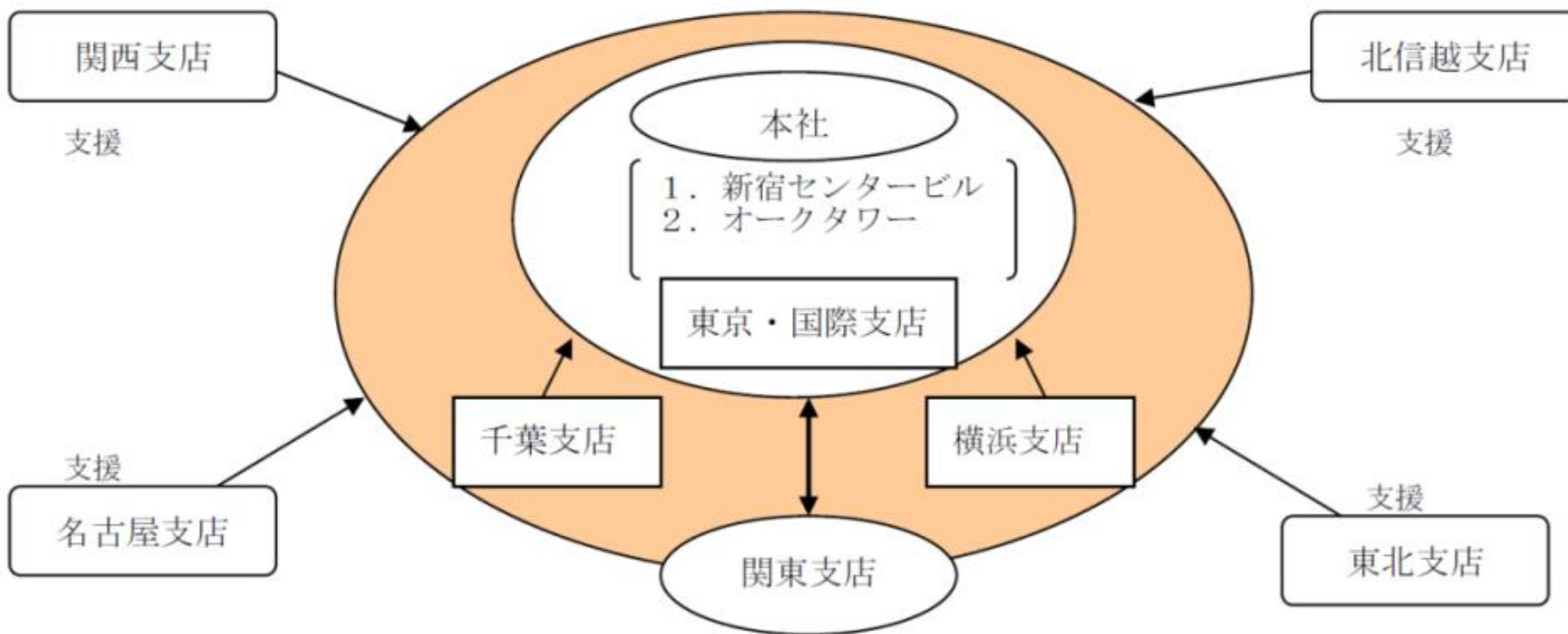
有事における日建連や顧客との「外部連携の実効性検証」及び「代替拠点の初動訓練」

「前年度からの変更ポイント」

①本支店社屋が電源喪失等により使用不能となった際に途切れなく対策本部機能を確保する目的で各拠点施設に代替拠点を整備し、その初動態勢構築訓練を実施

②日建連が行政機関等からの要請に基づき実施する「支援要請」について連携訓練を実施して実効性を検証

本社災害対策本部の代替場所の充実



BCP訓練の変遷

2016・17年度

国内外におけるBCP実効性の強化と検証

「前年度からの変更ポイント」

①新たな代替拠点の実効性検証

- ・本社の代替拠点として新たに板橋区にある社員寮（ドミトリー志村寮）にて初動訓練を実施

②日建連代替拠点の整備

- ・本社にて日建連本部の代替拠点スペースを設け、非常用電源、通信環境等の必要な環境整備を実施

单身寮を災害時拠点施設として整備・改修

- 非被災地からの応援社員の宿泊施設
- 最大300名収容可能
- 構造体の重要度係数を1.5
- 建築設備の機能強化
 - ・防災井戸
 - ・マンホールトイレ
 - ・非常用発電、太陽光発電
 - ・通信機能



東日本大震災では、本社勤務で帰宅困難になった女性従業員の宿泊施設に活用

社内情報インフラの例

初期対応支援ツール 施工物件マップ 復旧支援ツール 被災地情報共有



The screenshot displays a web-based GIS application interface. At the top, there are navigation tabs for '画面制御' (Screen Control), '表示 / 印刷 / DXF' (Display / Print / DXF), '計画' (Plan), '情報' (Information), and '詳細検索' (Detailed Search). Below these are various tool buttons like '拡大' (Zoom In), '縮小' (Zoom Out), '移動' (Move), and '縮尺' (Scale). The main area shows a map of a region with numerous blue and yellow markers representing construction sites or disaster points. On the right side, there are dropdown menus for '住所(選択)' (Address Selection), '都道府県' (Prefecture), '市区町村' (City/Town/Village), and '町丁字' (Machi/Choji). Below these are search and filter options. At the bottom, there is a table with columns for '建設物件番号' (Construction Object Number), '支店' (Branch), '建物名' (Building Name), '施工場所' (Construction Site), '発注者(所有者)' (Orderer/Owner), and '対応' (Response).